

## 教育心理学研究室（平山祐一郎）

### ▶平山先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

作文指導や読解指導の研究をしています。ことばが上手に使えると豊かな生活を送ることができます。そのお手伝いをする研究です。児童学部では「教育心理学」「保育心理学」「児童学総論」「基礎ゼミナール」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」「卒業研究」、短期大学部では「保育心理学」、大学院（修士）では「教育心理学特論」「情報処理演習Ⅱ」、大学院（博士）では「発達教育心理学特論」を担当しています。その中で、保育者として、あるいは保育研究者としての読む力、書く力を高めることに力をいれています。

こんな本を書いています。

「教育心理学 言語力からみた学び」（培風館）※共著

「保育の現場で役立つ心理学 保育所保育指針を読み解く」（アイ・ケイ・コーポレーション）※共著

「演習 保育内容 言葉 -基礎的事項の理解と指導法-」（建帛社）※共著

「保育系学生のための日本語表現トレーニング」（三省堂）※共著

「大学生の読書状況に関する教育心理学的考察」（野間教育研究所）※共著

### ▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

心理学を中心としたテーマの卒業研究論文を指導しています。しかし、文献研究なので、テーマは幅広く受け入れています。「保育における絵本の活用」「保育とジェンダー」「親ガチャをどう考えるか」「マスクと保育」「思いやりを育てるには」「レジリエンスをどう育てる」「どのような読書が必要か」などが最近のテーマです。学生が提案してくるテーマにはその率直さにいつも驚かされています。週1回、対面やオンラインで指導会を開催しています。3年生の春休みから指導を始めます。早く準備を始めると、テーマに対して余裕ができ、よい論文が書けるようになります。また、議論を多く取り入れた指導ですので、お互いにより刺激になり、視野の広い論文になっていきます。他のゼミとも交流会を実施し、卒業研究の報告や自分の進路について、あるいは4年間の大学のふりかえりをスピーチします。盛り上がることもあり、しみじみとすることもあり、なかなかよい会です。



※テーブルの上にある袋に校章クッキーやクリスマスツリートレード、マドレーヌ、パウロケーキ等が入っています。

▶クラス担任もしています。新型コロナウイルスに気を付けながら、楽しい時間を過ごします（クラス懇親会）。まだ飲食はできませんが、卒業生の方々（緑窓会カフェコクリコ）が作ってくださる洋菓子（超美味！）をお土産として手元に置くと、みんなの会話も一層はずみずみです。